



日豪二国間関係

日本はオーストラリアの特別な戦略的パートナーです。両国の絆は、民主主義という共通の価値観、互いに補い合う経済関係、そして長年培われてきた人と人との交流に根ざしています。私たちは共に、平和と安定、繁栄に満ちた「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて取り組んでいます。

2025年大阪・関西万博を開催することにより、日本が世界的なビジネスパートナーであることをアピールする絶好の機会となっています。この万博へのオーストラリアの積極的な参加は、未来志向で経済的に意義のある日本との関係を私たちが重視していることを意味しています。日本の成功はオーストラリアの成功にもつながるのです。

主要な貿易相手

日本は2023-24年度においてオーストラリアの第2位の貿易相手国であり、両国間の物品およびサービスの貿易額は1,040億ドルに達しました。これは2020-21年度の670億ドルから増加しています。

経済安全保障と先端技術分野での協力を共に注力することで、両国の絆はさらに深まっています。

オーストラリアと日本の間には、再生可能エネルギー、重要鉱物資源、グリーンメタル、

バッテリーサプライチェーン、クリーンエネルギー製造、そしてサプライチェーンの多様化といった新興分野において、さらなる連携を図る重要な機会が広がっています。

オーストラリアは日本のエネルギー需要の約3分の1を供給しています（日本の1日のエネルギー消費量の約8時間分に相当）。オーストラリアは、LNGなどの従来型資源の安定供給により、日本のエネルギー安全保障を支援することを約束しています（日本はオーストラリアにとって最大のLNG市場です）。同時に、オーストラリアと日本は、



2050年までのカーボンニュートラル達成という共通目標に向けて、水素やアンモニアなどの未来の燃料のためのサプライチェーン開発に共同で取り組んでいます。

成長するパートナーシップへの投資

2023年、日本はオーストラリアへの総投資額で第4位(2,650億豪ドル)、直接外国投資では第3位(1,410億豪ドル)を占め、外国直接投資フローの約12パーセントを担っています。日本は現在、オーストラリアの不動産への最大の投資国であり、2023年の総資本流入額は20億豪ドルを超えています。

人と人の結びつき

両国の間に育まれてきた深く永続的な人と人との結びつきは、私たちの二国間関係がいかに親密であるかを物語っています。

現在、記録的な数のオーストラリア人が日本を訪れています。2024年の暦年では903,001人のオーストラリア人が訪日しました。今年(2025年)1月には14万人以上が訪れ、これまでで最も多い月間訪問者数を記録しています。

2024年6月までの12か月間で、推定360,130人の日本人がオーストラリアを訪れました。総数はコロナ前のレベルよりやや少ないものの、上昇傾向にあります。オーストラリアは日本の高校の修学旅行先として最も人気のある目的地でもあります。そして、2023年には11,639人の日本人学生がオーストラリアで学びました。オーストラリアと日本の間には、約700の大学・研究パートナーシップ、550の姉妹校提携、そして100の姉妹都市・州関係が存在しています。

オーストラリアと日本の両国には豪日協会があり、イベントや交流プログラムを積極的に支援しています。

2024-25年度の豪日交流基金では22の共同プロジェクトが支援され、その多くが万博で発表される予定です。